



平成22年4月30日(金)
国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所

記者発表資料

平成22年度 東京空港整備事務所の事業概要について

国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所では、国内航空輸送ネットワークの要である羽田空港の国内・国際航空需要の増大に適切に対応していくため新たに4本目の滑走路となる「D滑走路」等の整備に取り組んでいます。

平成22年度は新滑走路、既存空港施設、国際線地区等の整備を引き続き実施します。また、国際線地区エプロン等の整備は、民間資金等活用空港整備等事業(PFI事業)で実施します。

同時発表記者クラブ

竹	芝	記	者	ク	ラ	ブ		
横	浜	海	事	記	者	ク	ラ	ブ
神	奈	川	建	設	記	者	会	
都	庁	記	者	ク	ラ	ブ		
東	京	航	空	記	者	会		

問い合わせ先

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1
国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所
再拡張事業関係 事業調整課長 北川 俊治きたがわ しゅんじ
機能向上事業関係 第一工務課長 眞山 丈夫まやま たけお
電話 03-5756-6573(事業調整課)
03-5757-2076(第一工務課)

とうきょうこくさいくうこうはねだくうこうさいかくちようじぎょう
東京国際空港（羽田空港）再拡張事業

平成22年度事業費：973億円

1. 事業の必要性及び概要

東京国際空港（羽田空港）は、国内航空旅客の約66%が利用する国内航空輸送ネットワークの要であるとともに、既にその能力の限界に達している中、今後さらに国内・国際航空需要の増大が見込まれ、首都圏空港として成田空港との一体的な活用が求められています。

本事業は、新たに4本目の滑走路、国際線地区等を整備し、平成22年10月末の供用開始を目指します。

○全体計画

事業箇所：東京都大田区羽田空港

全体工期：平成16年度～平成22年度

事業内容：新滑走路等の整備を行う「滑走路整備事業」及び国際線地区エプロン等の整備を行う「国際線地区整備事業」

2. 平成22年度の予定

新滑走路等の整備を引き続き実施します。また、国際線地区エプロン等の整備は、民間資金等活用空港整備等事業（PFI事業）で実施します。

3. 期待される整備効果

航空機の年間の発着能力を現在の30.3万回から44.7万回（昼間は40.7万回）に増強して、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利用者利便の向上が図られ、国際定期便の就航も図られます。

4. 位置図及び概要図



提供：羽田再拡張D滑走路建設工事共同企業体

東京国際空港(羽田空港)の整備

■事業の目的及び概要

東京国際空港(羽田空港)は、国内航空旅客の約66%が利用する国内航空輸送ネットワークの要であり、既にその能力の限界に達しています。

このため、新たに4本目の滑走路を整備するとともに、誘導路や国際線対応のエプロン等の整備を進めています。

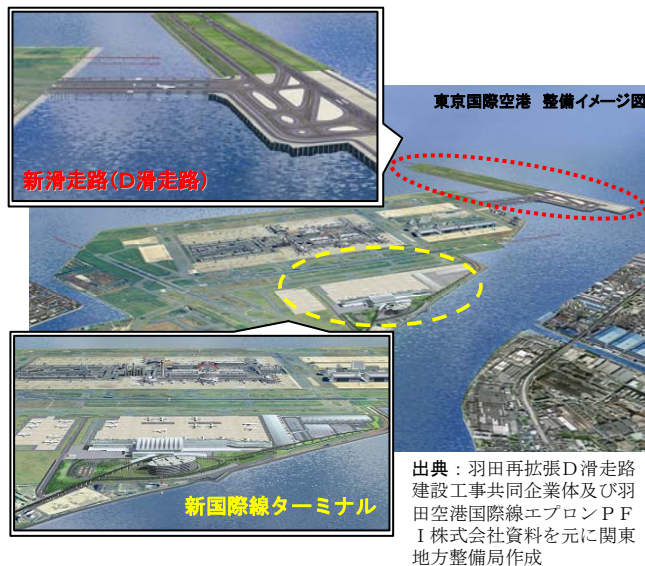
※国際線対応のエプロン等の整備は、民間資金等活用空港整備等事業(PFI事業)で実施しています。
(旅客・貨物ターミナル地区もPFI事業にて実施)

■平成22年度事業

平成22年10月の新滑走路等の供用に向け、舗装等の最終的な整備を行います。

■効果

新滑走路及び国際ターミナル等が完成することにより、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成・多頻度化による利用者利便の向上、航空市場における真の競争を行わせるための環境整備、都市の国際競争力強化(都市再生)、地域交流の促進、地域経済の活性化が期待されます。



■新国際線地区整備の状況



写真：関東地方整備局東京空港整備事務所 撮影

■D滑走路整備の変遷



写真：関東地方整備局東京空港整備事務所 撮影

●用語の説明

エプロン：航空機を駐機させるための場所の総称

民間資金活用事業(PFI事業)：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う手法

とうきょうこくさいくこうはねだくこうきのうこうじょうじぎょう
東京国際空港（羽田空港）機能向上事業

平成22年度事業費：143億円

1. 事業の必要性及び概要

東京国際空港（羽田空港）は、国内航空交通の中心として全国49空港との間に1日約420往復（平成21年12月ダイヤ）のネットワークが形成され、国内線で年間約6,000万人（平成20年度定期便実績）の人々が利用しています。

羽田空港の重要性に鑑み、今後とも、国内拠点空港としての役割を果たしつつ、今後の国内・国際航空需要に適切に対応していくために既存施設についても空港能力、利便性等の向上を図ることが不可欠であり、関連する整備を推進していきます。

○全体計画

とうきょうとおおたくはねだくこう

事業箇所：東京都大田区羽田空港

事業内容：C滑走路の延伸、エプロン・誘導路の新設、空港アクセス改善等

2. 平成22年度の予定

C滑走路の延伸、エプロン・誘導路の新設、空港アクセスの改善等を実施します。

3. 期待される整備効果

誘導路新設及び夜間駐機に必要なエプロン新設等による空港能力の向上や空港アクセス改善による利便性等の向上が図られます。

4. 位置図及び概要図

